

# ルシヤ川河床路実証試験計画 (実施状況報告)

林野庁北海道森林管理局  
網走南部森林管理署

# 2018(H30)年度第1回河川AP会議以降の経過報告

H30年7月9日～10日

- 2018(H30)年度第1回河川AP会議  
・11月～12月の本体工事計画について、積雪の影響で工事が間に合うか懸念する意見あり

H30年7月10日～11日

- 安田委員の現地指導等  
・工期に加え、海岸からの必要量の巨石の調達についても懸念があり、現地確認を踏まえ河床路を40.1m→33.0mに短縮(総延長7.1m短縮)する提案を受ける。



- 河床路の短縮について  
・河川AP会議各委員及び設計の指導を受けた妹尾オブザーバーへ説明し、了解を得る。
- 工事を実施するにあたり、地元関係者との調整を実施  
・漁業関係者 ・観光業関係者 ・稀少野生動物専門家
- 必要な法令協議の実施

平成30年10月4日

- 工事請負契約締結

- 10月中旬～:10月31日 準備工
- 11月 1日～:河川内工事開始
- 11月上旬～中旬:妹尾オブザーバー及び安田委員の石組現地指導
- 11月23日:本格的な積雪期に入ったため、現場作業終了(分流堰の石組は見合わせ)

平成30年12月17日

- 完成

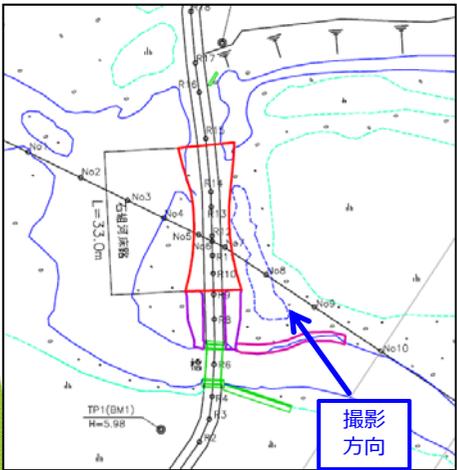
# 河床路完成写真について(左岸側より撮影)



着工前



完成



施工中

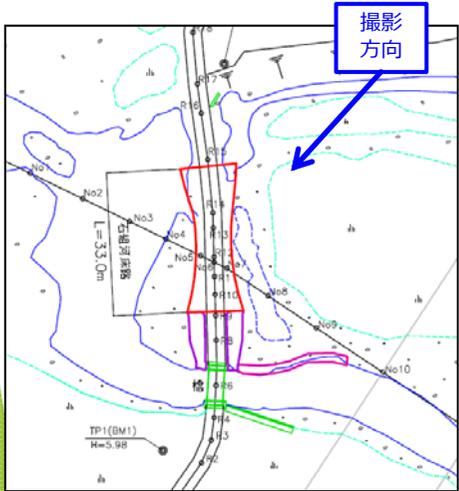
河床路完成写真について(右岸側より撮影)



着工前

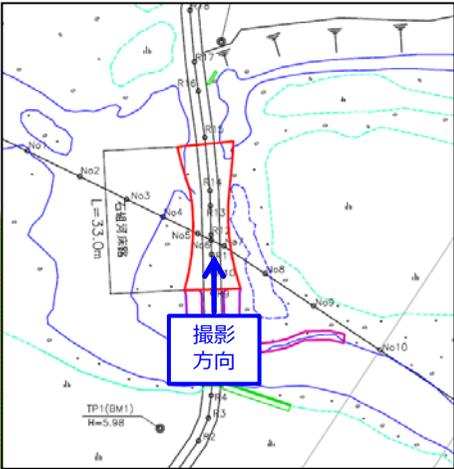


完成



施工中

河床路完成写真について(起点側より撮影)



# 河床路施工の流れ

巨石採取、運搬

床掘

専門家による石組実技指導  
(妹尾オブザーバー、安田委員)



路盤整備して完成

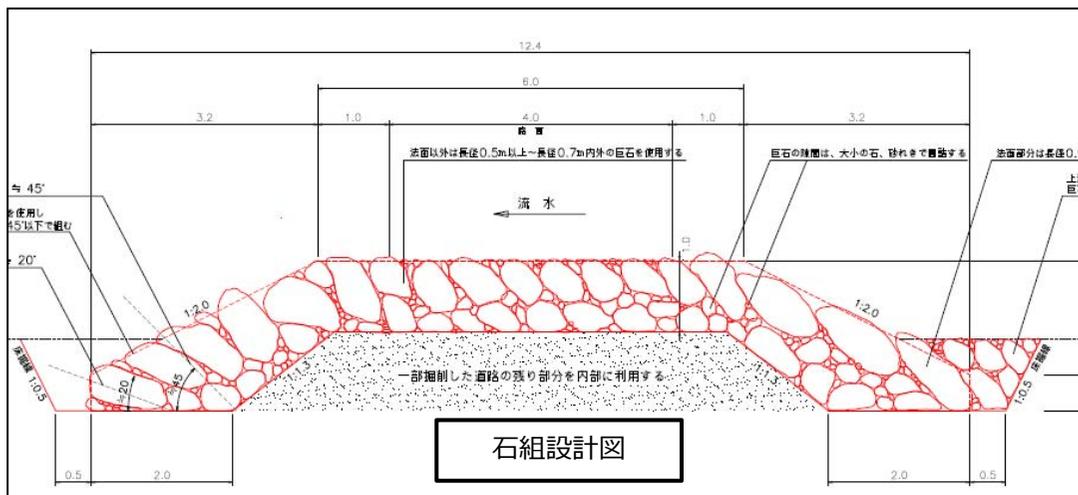
石組完成

間詰め作業

業者による石組

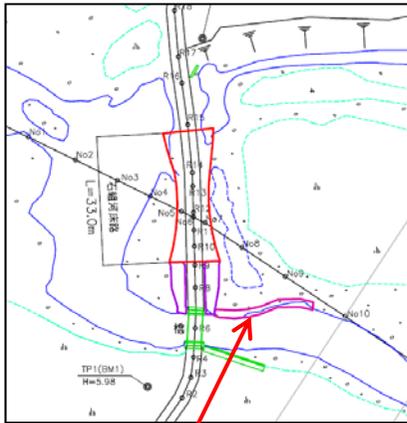


# 石組構造について



## 施工を見合わせた分流堰(L=25.1m)の取扱について

- ・積雪期に入ったため、分流堰の石組の施工は見合わせたが、応急的に巨石を配置した。  
(分流堰と同じ高さで配置)
- ・2019( H 3 1 ) 年度の融雪後に現地状況を確認し、現時点での分流堰の石組の施工の必要性について判断する。



分流堰計画箇所  
(L=25.1m)



応急的に巨石を配置

## 2019(H31)年度の予定について

### (工事関係)

- ・河床路のメンテナンス作業（路盤整備及び補修）を実施する。
- ・分流堰の石組について融雪後に現地状況を確認し、必要と判断した場合に施工する。

### (モニタリング関係)

増水時の、河床路への通水の状況を映像等で記録するとともに、車両通行に対する耐久性など河床路の性能について、安全には十分留意して検証・モニタリングするため下記の経過観察を行う。なお、融雪後の検証については車両の通行が可能となった時点で行う。

- ・河床路本体の状態（構造、路盤部分の変化等の確認）
  - ・増水の程度における河床路に対する水量の変化
  - ・河床路の上下流の地形及び滞筋の変化
- その他、必要に応じて調査項目を追加する。

